

⑥ 申し受け給へるかひありて、あそばしたりな。
すばらしい歌を

問二十九、「誰が何を「申し受け」たか
問三十、「あそばしたりな。」傍線注釈

問三十一、敬語説明

⑦ 御みづからものたまふなるは、
舟

なる 識別②③

※問三十二、敬語の使われ方をを
ヒントにするとよいよ。

問三十二、主語は大納言殿だが、どこから判断できるか
問三十三、訳

問三十四、「のたまふなるは」品詞分解
問三十五、「なる」は伝聞だがどういう設定か

「作文のにぞ乗るべかりける。
問三十六、訳

ける 識別③⑪⑫

⑧ さて、かばかりの詩を作りたらましかば、
歌と同じくらいの

問三十七、訳

ましかば——まし

問三十八、「作りたらましかば」品詞分解

名の上がらむこともまさりなまし。
ような

問三十九、品詞分解

な

問四十、大納言殿は何を望んでいたか

※問四十、どうして漢詩を詠めば
よかつたと悔やんだのか？すばらし
い歌を詠んだからそれでいいじゃん。

問四十一、「ましかば——まし」ってどういう用法

たま

⑨ くちをしかりけるわざかな。
問四十二、「ける」はどうして詠嘆

ける 識別③⑪⑫

問四十三、訳

公任は

⑩ さても、殿の、「いづれにかと思ふ。」とのたまふなる。

ためには
たまふ

問四十四、「の舟」・「乗る」を適切に挿入して作文せよ

問四十五、敬語説明

な

我ながら心おごりせられし。」とのたまふなる。

たまふ

問四十六、「られ」は敬語のはずがないがなぜか

な

問四十七、「我ながら心お」りせられし。」傍線注釈

たまふ

問四十八、「のたまふなる」傍線注釈

な

かくいづれの道も抜け出で給ひけむは、

たまふ

問五十一、敬語説明

な

問五十二、「だに」……程度の低いものと高いものを抜き出す

たまふ

いにしへも侍らぬことなり。

な

問五十三、品詞分解

な

問五十四、敬語説明

な

問五十五、この話では何を伝えたかったのか